

平成二十二年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 意**
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
 - 三、問題は、**1**から**3**までで、**六**ページにわたって印刷してあります。
- なお、問題用紙のほかに別紙があります。
- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(四)の各問いに答えなさい。(二十三点)

(一) 次の①、②の□に当てはまる言葉として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 久しぶりですね。□、クラスのみんなは元気ですか。

ア、それとも イ、つまり ウ、ところで エ、ただし

② もう一度君に会えるなんて、□夢のようだ。

ア、決して イ、もしも ウ、ぜひとも エ、まるで

(二) 次のAの文の傍線部分「食堂で」はどの言葉を修飾しているか、Aの文中から一文節で抜き出して書きなさい。

A 私は、家族とデパートの食堂でおいしいオムライスを食べた。

(三) 次の傍線部分を現代かなづかいに改め、ひらがなで書きなさい。

八月ばかりになれば、「ちちよ、ちちよ」とはかなげに鳴く。いみじうあはれなり。(『枕草子』より)

(四) 次の各文の波線部分のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、ひどく疲れてもう歩くことさえできない。 イ、君さえわかってくれたらいい。

ウ、いそがしくて彼と話をする暇さえない。 エ、筆記用具さえ持ってこなかった人がいる。

(五) 次のAの文の傍線部分と品詞が同じものはどれか、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

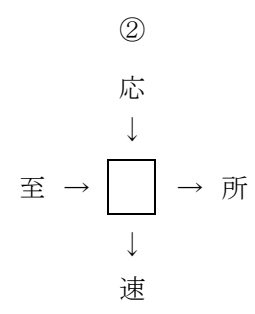
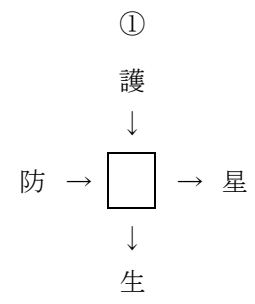
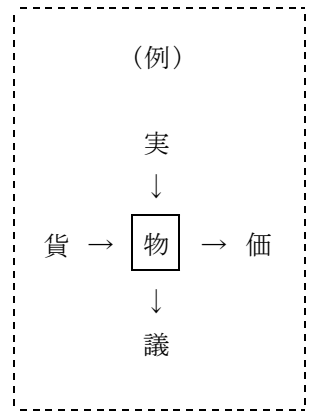
A 子ども用の小さな机がある。

ア、彼はあらゆる方法を試してみた。 イ、もう少し大きい箱が必要だ。
ウ、彼のさわやかな笑顔は魅力的だ。 エ、兄のような選手になりたい。

(六) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① たくさんの仕事を請ける。
- ② 紙は植物などの繊維からできる。
- ③ すり傷が治癒する。
- ④ スポーツで体力をやしなう。
- ⑤ 大いにふんきして勉強する。
- ⑥ えんげきを鑑賞する。

(七) 次の①、②の中央の□の中に、ある漢字を入れ、矢印の方向に読むと二字の熟語が四つできる。(例)にならって①、②の□の中に入る漢字をそれぞれ一字書きなさい。



(八) 敬語には、尊敬語、謙譲語、丁寧語の三種類がある。次の①～④の文の傍線部分に用いられている敬語は、それぞれあとのア～ウのどれに当たるか、最も適当なものを一つずつ選び、記号で書きなさい。

- ① 私の趣味は読書です。
- ② 私は、お客様におみやげをいただいた。
- ③ 社長が昼食を召しあがった。
- ④ 校長先生が生徒の作品をご覧になった。

- 〔ア〕尊敬語
- 〔イ〕謙譲語
- 〔ウ〕丁寧語

(九) 次の文は、文の組み立てのうえから二通りの意味に取れる。それらの意味の違いを説明しなさい。

私は 昨日 弟が 書いた 作文を 読んだ。

(十) 次のA、Bの故事成語のうち、どちらか一つを選び、選んだ故事成語を適切に用いて、その故事成語としての意味を生かしたまとまりのある文、または文章を作りなさい。

- A 杞憂 きゆう
- B 推敲 すいこう

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十七点)

(一) 傍線部分(1)「定評」とあるが、「定評」とはどのような意味か、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、ある一定の基準にもとづいて行う批評
イ、人々が意見を交換して決定すること
ウ、多くの人々がそうだと認めている評価
エ、人の心や感覚をつきうごかすこと

(二) 傍線部分(2)「変化」と熟語の組み立てが同じものはどれか、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、生産
イ、断続
ウ、映像
エ、黒帯

(三) 文中の A、B に当てはまる言葉として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- A、そのうえ
イ、けれども
ウ、そして
エ、なぜなら
B、簡単な
イ、ゆるやかな
ウ、詳しい
エ、厳しい

(四) 二重傍線部分①、②のカタカナと次のア～エの傍線部分のカタカナを漢字に直すとき、二重傍線部分③、④と同じ漢字を使うものはどれか、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 有名なカイ画を鑑賞する。
イ、工場の機カイを新しくする。
ウ、次の段カイに進んだ。
エ、雲一つないカイ晴だ。
- ② ストレスを解ショウする。
イ、店先にショウ品を並べる。
ウ、図形のショウ明問題。
エ、古くからの民話を伝ショウする。
- ③ 有名人の肖像を鑑賞する。
イ、工場の機カイを新しくする。
ウ、次の段カイに進んだ。
エ、雲一つないカイ晴だ。
- ④ ストレスを解ショウする。
イ、店先にショウ品を並べる。
ウ、図形のショウ明問題。
エ、古くからの民話を伝ショウする。

(五) 傍線部分(3)「それ」とあるが、「それ」の指し示す内容を、本文中の言葉を使って、四十字以上五十文字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(六) 傍線部分(4)「それが、防風林に落葉高樹であるケヤキを使った理由である」とあるが、関東以北で防風林に落葉高樹であるケヤキを使ったのはなぜか、その理由を、関東以北の防風林に求められることとケヤキの性質にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(七) 傍線部分(5)「私たちの祖先の見事な自然への順応」とあるが、私たちの祖先が「見事な自然への順応」を実現することができたのはなぜか、その理由を、私たちの祖先が生きていくための知恵の原点としたことにふれたうえで、本文中の言葉を使って書きなさい。

3

次の【発表原稿】と【資料A】、【資料B】、【資料C】は、中学生のはるきさんが、環境省のホームページなどを参考に、生活排水について調べたことを発表するときに使用するものである。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十点)

【発表原稿】

地球上には、およそ十四億キロ立方メートルの水があるといわれています。①そのうち、約九十七・五パーセントが海水で、約二・五パーセントが淡水です。私たちは、海水を飲料水として直接飲むことはできません。私たちが直接飲んだり、生活に使ったりすることができずは、淡水です。しかし、この淡水の大部分は南極や北極などの氷河であり、私たちが利用しやすい河川や湖沼こしやうの水は地球上の水のわずか〇・〇一パーセントにすぎないのです。私たちは主に、この貴重な河川の水を、水道水として利用しています。上流で使われ、放流された水は、下流の人たちがまた利用しています。このように限られた水を繰り返し使わなければならないからこそ、私たちは、水の汚れぐあいにもっと関心を持つ必要があるのではないのでしょうか。

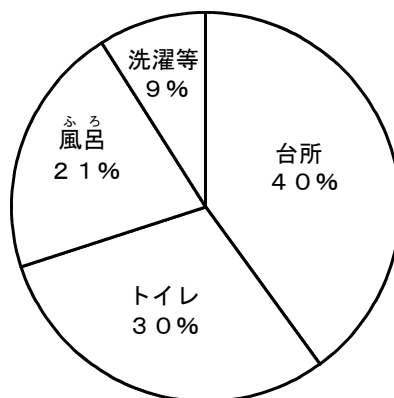
水を汚す主な原因の一つは、私たちの家庭から出る生活排水です。②食べ残しのみそ汁や牛乳、米のとき汁など、台所からなにげなく流しているものが、生活排水の汚れの約四割を占めています。このほか、トイレ、風呂ふろ、洗濯などの排水も、川や海などの水を汚す原因です。③一人が一日に使う水量は約二百五十リットルにのぼります。これは、二リットルのペットボトル約百二十五本分に相当します。家庭から出る生活排水は浄化施設などできれいにする努力をしていますが、水の汚れをすべてとることはできません。④川や海の水が汚れると、水の中の酸素が減って、魚や貝が窒息したり、悪臭が発生したりします。水の汚れぐあいをあらわす目安めやすの一つである「BOD」は、微生物が水の汚れを分解するときに使う酸素の量で、この値が大きいほど汚れがひどいこととなります。⑤一度汚れてしまった水を魚がすめる水質に戻すためには、たくさんの水が必要になります。

以上が、今回調べてわかったことですが、私は、今後、一人ひとりが私たちの生活と水との関係について深く考え、きれいな水を守るためにできることに取り組んでいく必要があると思います。

(一) はるきさんは、次の【資料A】、【資料B】、【資料C】を提示して、発表するときの説明に生かしたいと考えている。【資料A】、【資料B】、【資料C】は、【発表原稿】の文章中の傍線部分①～⑤のどこで提示するのがよいか、①～⑤から、最も適当なものをそれぞれ一つずつ選び、その番号を書きなさい。

【資料A】

＜生活排水の中の汚れの割合＞



(環境省ホームページから作成)

【資料B】

＜魚がすすめる水質にするために必要な水＞

	水の汚れぐあい { BOD } (g)	魚がすすめる水質にする ために必要な水 { 浴槽 (300ℓ) } 何杯分か
使用済みの てんぷら油 (20ml)	30	20
マヨネーズ 大きじ1杯 (15ml)	20	13
牛乳 コップ1杯 (200ml)	16	11
シャンプー 1回分 (4.5ml)	1	0.67
台所用洗剤 1回分 (4.5ml)	1	0.67

(環境省ホームページから作成)

【資料C】

＜地球上の水の量＞

海水		97.5%	
淡水	氷河など	1.7%	
	地下水・河川 ・湖沼など	地下水など	0.79%
河川・湖沼など		0.01%	

(環境省ホームページから作成)

(二) 【発表原稿】の文章中に二重傍線部分「一人ひとりが私たちの生活と水との関係について深く考え、きれいな水を守るためにできること」について、あなたの考えや意見を、あなたの考える「私たちの生活と水との関係」にふれて、「作文の注意」にしたがって書きなさい。

【作文の注意】

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたが「きれいな水を守るためにできること」を具体的にに取り上げて書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の正しい使い方がい、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。